

令和7年度石川県高等学校総合体育大会柔道競技実施要項

- 1 主催 石川県教育委員会 石川県高等学校体育連盟
2 後援 石川県柔道連盟 北國新聞社
3 主管 石川県高等学校体育連盟柔道専門部
4 日時 団体の部 令和7年6月5日(木) 開会式 午前10時00分より (男子・女子各決勝戦まで)
個人の部 令和7年6月6日(金) 開始式 午前10時00分より
男子個人戦 60kg級・66kg級・(各階級決勝戦まで)
女子個人戦 全階級 (各階級決勝戦まで)
令和7年6月7日(土) 開始式 午前10時00分より
男子個人戦 73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級 (各階級決勝戦まで)
計量 令和7年6月5日(木) 午前8時30分～9時10分
男子個人戦 60kg級・66kg級
女子個人戦 全階級
令和7年6月6日(金) 午前8時30分～9時10分
男子個人戦 73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級
*男子は原則として上半身裸・短パンとし、女子はTシャツ・短パンとする。
原則として前日計量とするが、個人戦のみの参加校については当日計量を認める。
その場合、顧問会議で申し出ること。
審判・監督会議 大会期間の3日間において午前9時30分より2F講師控室で行う。
5 会場 石川県立武道館 金沢市小坂町西8-3 TEL076-251-5721
6 競技規則 (1) **国際柔道連盟試合審判規定(2025-2028)、全国高体連申し合わせ事項による。**
(2) 「優勢勝ち」の判定基準
ア 団体試合は「有効」又は「僅差」(「指導」差2)以上とする。
チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で
得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦では「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で
試合終了とする。
イ 個人試合は「有効」又は「僅差」(「指導」差2)以上とする。
試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を行う。
延長戦は「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で
試合終了とする。
(3) 試合時間は団体・個人とも4分とする。但し、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を
設けない。
(4) 全国高体連申し合わせ事項
①直接的な「反則負け」となった試合者に対する処置は基本的にはルールどおりとするが、いわゆる
ダイビングによる「直接的反則負け」については、その後の一連の試合に出場できない。但し、団体
試合と個人試合は一連の試合とは考えない。
②試合中に審判に意見(抗議)を言う監督に対しては、3人の審判で合議し、その監督に言動を慎む
よう「警告」を与える。なお続くようならば、その監督を退場させ、試合を没収する。
③柔道衣(上衣・下穿)について…全国高体連主催大会(全国総体・全国高校選手権)において、全
日本柔道連盟公認の柔道衣(平成27年度新規定による)を着用すること。については、当大会も上位
大会に準じて指定します。IJF認証ラベルは「赤枠」または全柔連認証番号タグの数字(JU0000)が
「赤」のもの。ただし「帯」については、IJF認証ラベルが「青枠」、全柔連認証番号タグの数字(J
U0000)が「黒」)も使用可能。
7 競技方法 (1) 団体戦はトーナメント戦で行い、点取試合とする。トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
ア 判定基準：選手対選手それぞれの試合の勝敗は「有効」又は「僅差」以上とする。
*僅差は、「指導」差2とする。
イ 「技の内容」と「指導」の重み
*一本勝ち=反則勝ち>技有>有効>僅差の順とする。
ウ 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定
(A) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(B) (A)で同等の場合は、「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
*一本勝ちと反則勝ちとは同等する。
(C) (B)で同等の場合は「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
(D) (C)で同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
(E) (D)で同等の場合は、代表戦を行う。
*代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
*代表戦の判定基準、実施方法は、「有効」又は「僅差」以上とし、試合終了時
に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、
必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「有効」以上の得点、または、「指導」

の数に差がついた時点で試合終了とする。

***代表戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また、延長戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。**

(2) 個人戦はトーナメント戦で行う。

***指導の累積により両者反則負けとなった場合は、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また延長戦において、指導の累積により両者反則負けとなった場合には、スコアをリセットし、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い必ず勝敗を決する。**

(3) 男子個人戦においてのみ敗者復活戦を行う。

8 参加資格

- (1) 石川県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該学校長が参加出場を認知した者。
- (2) 令和7年度、石川県柔道連盟を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録完了した者。
- (3) 年齢については、平成18年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住や令和6年能登半島地震に伴う転校などの場合で、石川県高等学校体育連盟会長が許可した者はこの限りではない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、学校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例 全国高等学校総合体育大会開催基準要項【8-(8)】並びに【大会参加資格の別途に定める規定】に準ずる。
- (8) 外国人留学生については卒業を目的として入学していること(短期留学は認めない)。
- (9) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (10) 脳振盪の対応について
 - ①大会1ヶ月前に脳振盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(11) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(12) 各種感染症の感染防止対策について、参加者は主催者が定める各種感染症の予防措置を必ず遵守すること。なお、試合中に感染予防措置を遵守できない参加者には、参加の取り消しや途中退場を求めることがあり得る。

9 参加制限

- (1) 男子団体は1校1チームとし、監督1名、選手5名、補欠1名で編成する。
(ただし、3名以上でエントリーできる。配列は上位大会に準じ3人から4人の場合は後ろ詰めとする。)
女子団体は1校1チームとし、監督1名、選手3名、補欠1名で編成する。
(ただし、2名以上でエントリーできる。配列は上位大会に順じ後ろ詰めとする。)
外国人留学生のチーム人員は男子・女子とも1名以内とする。

(2) 個人戦は男女7階級とする。

男子体重区分(60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・90kg級・100kg級・100kg超級)

女子体重区分(48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・70kg級・78kg級・78kg超級)

(3) 外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

10 選手変更

団体戦のみとし所定の選手変更届用紙に記入し、学校長の承認印を捺印の上、審判・監督会議までに係に提出すること。また、選手変更によって退いた選手は個人戦には出場できない。

11 補助員

12 その他

鶴来高校・県立工業高校の柔道部員のご協力をお願いします。

- (1) 第66回北信越高等学校体育大会柔道競技出場資格
団体 男子 4校(準決勝進出校)、女子 3校(決勝進出校及び代表決定戦勝利校)
個人 男子 各階級 8名(1~7位)、女子 各階級 4名(準決勝進出者)
- (2) 第74回全国高等学校総合体育大会柔道競技出場資格
団体 男子・女子の団体戦優勝校
個人 男子・女子の個人戦各階級優勝者
- (3) 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて、参加申込書の提出により下記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応いたします。
 - ①参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果が、大会プログラム、競技会場内の掲示板、石川県柔道連盟ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により新聞、テレビに公開される場合があります。
 - ②ケアシステムの動画は各種委員会講習会で使用されることがあります。
- (4) 試合中の負傷等については、応急処置後は一切の責任を負いません。
各所属で責任をもって傷害保険等の加入をお願いします。